



健食原料・素材・OEM展2014、 「日本を健康にする！」研究会セミナー開催報告



主催：株式会社ヘルスビジネスマガジン社



Official website : <http://www.nihon-kenko.jp/>



展示会開催概要

- 名称: 「健食原料・素材・OEM展2014」
- 日時: 2014年5月8日・9日(木・金) 10:00-17:00
- 会場: 東京国際フォーラム 展示ホール(ガラス棟G 地下2F)
- 来場者数: 9,859名
- 主催: 株式会社ヘルスビジネスマガジン社
- 出展: 健康食品の原料供給、受託加工、容器・包装資材メーカーなど43社





出展ブースイメージ





セミナー開催概要

- 日時 2014年5月9日(金) 10:00-11:50
- 会場 東京国際フォーラム 展示ホール前セミナールーム
- 参加者数 70名
- 主催 株式会社ヘルスビジネスマガジン社
- 後援 「日本を健康にする！」研究会

10:00~11:00 講演①

「疲労・抗疲労の科学と抗疲労食」

独立行政法人理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター
センター長 渡辺 恭良先生

11:00~11:30 講演②

「QOL向上に向けて必要とされる機能性食品開発」

早稲田大学 規範科学総合研究所ヘルスフード科学部門
研究員教授 矢澤 一良先生

11:30~11:40 企業プレゼンテーション

株式会社インサイト 代表取締役 石川 陽介氏





11:40~11:50 質疑・応答、挨拶

「日本を健康にする！」研究会事務局 RDサポート





セミナー内容

	<p>講演① 『疲労・抗疲労の科学と抗疲労食』 独立行政法人理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤センター センター長 渡辺 恭良先生</p> <p>病気になってからではなく、病気になる前に抑えてしまおうという「先制医療」、先制医療を考えるにあたって疲労を正しく知ることの大切さについて、話された。 健康科学イノベーションセンターでの取組み(クロスポリネーションの場作り)、疲労のこれまでの研究成果・疲労のメカニズムについてご説明された後、疲労を測る疲労度計、疲労回復レシピをご紹介された。</p>
	<p>講演② 『QOL向上に向けて必要とされる機能性食品開発』 早稲田大学 規範科学総合研究所ヘルスフード科学部門 研究員教授 矢澤 一良先生</p> <p>栄養・運動・休息による予防医学、それを支える「機能性食品の役割」について話された。 疲労がもたらす作業効率の低下は経済損失であると話され、疲労の分類をした上での疲労回復の大切さ、疲労回復を促進するヘルスフードの重要性について述べられた。また、「日本を健康にする！」研究会での「機能性おやつプロジェクト」の取組みをご紹介された。</p>
	<p>講演③ 『管理栄養士・栄養士対象リサーチサービス「食プロリサーチ」』 株式会社インサイト 代表取締役 石川 陽介氏</p> <p>矢澤先生による管理栄養士・栄養士は国家的知的財産であるというお話を聞き、管理栄養士・栄養士を対象としたリサーチサービスについて、お話をされた。有識者である管理栄養士・栄養士の力を活用することで、商品企画・研究開発部門の情報収集ツールとして、また、マーケティング・販売企画部門の販促ツールとして、企業のバリューチェーンの両端で価値を提供出来ると述べられた。</p>
	<p>『「日本を健康にする！」研究会の活動について』 株式会社RDサポート 代表取締役 大澤 裕樹氏</p> <p>「日本を健康にする！」研究会設立背景、管理栄養士・栄養士の社会的重要性について、話をされた後、研究会の活動紹介、今後の活動について、紹介をされた。 また、矢澤先生からご紹介のあった「機能性おやつプロジェクト」についても触れられた。</p>